

兵 医 広 報

2024
SPRING
vol.265

建学の精神
社会の福祉への奉仕
人間への深い愛
人間への幅の広い科学的理解

西宮キャンパス

兵庫医科大学(医学部)
兵庫医科大学病院
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
☎0798-45-6111(代)
https://www.hyo-med.ac.jp/(大学)
https://www.hosp.hyo-med.ac.jp/(病院)

神戸キャンパス

兵庫医科大学 (薬学部・看護学部・リハビリテーション学部)
〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番地6
☎078-304-3000(代)
https://www.hyo-med.ac.jp/

篠山キャンパス

兵庫医科大学
ささやま医療センター
〒669-2321 兵庫県丹波篠山市黒岡5番地
☎079-552-1181(代)
https://www.sasayama.hyo-med.ac.jp/
兵庫医科大学
ささやま老人保健施設
兵庫医科大学
ささやま居宅サービスセンター
〒669-2321 兵庫県丹波篠山市黒岡36番地
☎079-552-6840(代)
https://www.sasayama.hyo-med.ac.jp/

梅田キャンパス

兵庫医科大学
梅田健康医学クリニック
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-13-1 大阪梅田ツインタワーズ・サウス13F
☎0120-682-701(代)
https://umeda-kenshin-clinic.jp/

< 広報誌の送付先変更や配送停止に関するお問合せ >

【兵庫医科大学 医学部 卒業生(緑樹会会員)の方】
兵庫医科大学 医学部 同窓会緑樹会
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
兵庫医科大学 西宮キャンパス 教育研究棟 3階
☎0798-45-6448 (平日13:00~17:00)
✉ryokuju@hyo-med.ac.jp

【兵庫医科大学 医学部 在学生保護者の方】
兵庫医科大学 大学事務部 西宮教学課
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
兵庫医科大学 西宮キャンパス 教育研究棟 2階
☎0798-45-6159 (平日8:30~16:45)
✉kyo-gaku@hyo-med.ac.jp

【兵庫医科大学 薬学部・看護学部・リハビリテーション学部 卒業生(海鳥会会員)の方】
兵庫医科大学 キャリアデザインセンター
〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番地6
兵庫医科大学 神戸キャンパス M棟 1階
☎078-304-3100 (平日8:30~17:00)
✉careerdesign@hyo-med.ac.jp

【兵庫医科大学 薬学部・看護学部・リハビリテーション学部 在学生保護者の方】
兵庫医科大学 大学事務部 学生支援課
〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番地6
兵庫医科大学 神戸キャンパス P棟 1階
☎078-304-3007 (平日8:30~17:00)
✉gakuseishien@ml.hyo-med.ac.jp

【その他の方】
学校法人 兵庫医科大学 総務部 広報課
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
☎0798-45-6655
✉kouhou@hyo-med.ac.jp

学校法人 兵庫医科大学 広報誌
兵医広報 vol.265 (2024 SPRING)
発行日/2024年4月24日
発行元/学校法人兵庫医科大学 総務部 広報課



つながる 未来

卒業生からのEMPOWERメッセージ

2024年3月、西宮・神戸キャンパスにて卒業式が執り行われました。学長からのエールを受け、未来の医学界を担って羽ばたく西宮:111名、神戸:277名合計:388名の卒業生が晴れやかな笑顔で未来への一歩を歩みはじめます。

兵庫医科大学が掲げる「EMPOWER THE PEOPLE」のスローガンのもとに学んできた17名の母校への思いと未来へ向けたメッセージをお届けします。



“努力し続ける大切さ”

研究という新しいことに挑戦し、努力し続ける大切さを学びました。また本当に多くの方々と接し、多くの経験をし、人間としての幅が広がったと思います。6年間沢山の方々に出会い、支えて頂いたからこそ、賞を頂けたと思っています。本当に感謝しかありません。



浅井 新喜
医学部・医学科
研究医コース学長賞 受賞



“仲間と協力すること”

グループワークが取り入れられている授業が多いため、その関わりの中で自分の看護観などを養うことができ、仲間と協力して課題に取り組むことの大切さを学ぶことができました。同じ志を抱く仲間と切磋琢磨しながら学べ、人としても成長できる環境であるところが良かったです。

樋口 愛望
看護学部・看護学科
森村賞 受賞



“多職種連携の重要性と幅広い知識”

先生や友人に恵まれ、楽しみつつ安心して勉学に励むことができました。実習や講義、他学部と合同の授業を通して、薬学の知識はもちろんですが、チーム医療の中での薬剤師の役割や多職種連携の重要性など、幅広い知識を養うことができ、感謝しています。

丸城 優希
薬学部・医療薬学科
森村賞 受賞



MIRAI
MESSAGE. I
—
兵庫医大で
学んだこと

“仲間と意見を交換する大切さ”

私は、兵庫医科大学で仲間と協力することの大切さを学びました。4年間で多くのグループワークを通して、自分1人では得られなかった考え方やより深まった理解が得られ、自分の力となりました。これからも仲間と協力し、日々成長できるように頑張ります。

武貞 美里
リハビリテーション学部・
理学療法学科
森村賞 受賞



先輩 から 新入生 へ

キャンパスライフを
楽しむために

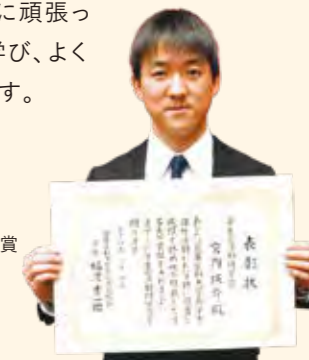
課外活動に参加することで一緒に学ぶ仲間との新しい出会いがあります。今まで以上に、交友関係が広がり素敵なキャンパスライフが送れます！

馬戸 俊輔
薬学部・医療薬学科
課外活動功労賞 受賞



慣れないことばかりで大変かと思いますが、向き不向きよりも前向きに頑張ってください。よく学び、よく遊ぶことも大事です。

宮内 瑛介
医学部・医学科
学生会活動功労賞 受賞



“人体解剖実習”

最も心に残っている授業は人体解剖実習です。初めてご献体と向き合ったとき、私達を医師にするために、大切なお身体を預けてくださった方がいらっしゃることを実感し、身が引き締まる思いでした。医師という仕事があるような方々の支えのもとに成り立っていることを忘れず、精進していきたいです。



福渡 夏樹
医学部・医学科
森村賞 受賞

“薬物治療学Ⅰ”

薬物治療学Ⅰです。これまで基礎系科目で学んだことをすべて活かすことで、薬物治療することができると思いました。また、様々なことを学ぶため授業や試験勉強にも苦労しましたが、治療だけでなく検査、症状、予防などについても非常に勉強になったことが印象的でした。

中脇 路博
薬学部・医療薬学科
森村賞 受賞



“基礎看護概論”

私の心に残った授業は、基礎看護概論です。看護学部に入學して初めての看護の授業を受けて、今まで曖昧だった自分の看護師像について考え、改めて看護師を目指す強いきっかけとなったからです。実際に、この授業で全人的に看護することの大切さに気づいたことで実習の理解を深めることができました。

松本 怜奈
看護学部・看護学科
森村賞 受賞



MIRAI MESSAGE.2
心に残った授業は？

“解剖学実習”

私は“解剖学実習”が心に残っています。実際にご献体の解剖を見学し、筋や骨格の構造を勉強しました。この授業を受けたことで、人の命と向き合うことがどれほど大切で尊いものであるかを学ぶことができたと思っています。この貴重な経験で得た学びをこの先も大切にしていきたいです。

水野 まりあ
リハビリテーション学部・
作業療法学科
森村賞 受賞



“仲間から信頼される存在に”

薬剤師として患者さんやそのご家族の方、共に働く他の医療職者から信頼される存在となる事です。また、信頼されるようになる中で「患者さんと医療を結び付ける橋渡しのような役割」を担える薬剤師となれるように研鑽を積んでいきたいと考えています。

篠原 颯太
薬学部・医療薬学科
海泉賞 受賞



“柔軟な対応力でケアを提供”

思いやりの心と人間性、十分なコミュニケーションスキルを備え、患者さんの状況・感情を理解・尊重した上で信頼関係を構築できることです。また、多職種と連携して、専門知識と柔軟な対応力を持ち、患者さん中心のケアを提供できる医療人を目指したいと思います。

大橋 昌功
医学部・医学科
森村賞 受賞



“患者さんのニーズに合った看護を届ける”

私は医療人として、患者さんの思いや訴えに耳を傾け、「この人ならなんでも話すことができる」と思ってもらえるような関わりを目指したいと思います。また、患者さんとの日々のコミュニケーションや生活背景などを大切に、患者さんのニーズに合った看護を提供したいと思います。

阿河 莉子
看護学部・看護学科
海泉賞 受賞



MIRAI MESSAGE.3
医療人として目指すこと

“密なコミュニケーションで関係を築く”

私は、患者さん一人一人のニーズに応える事が出来る医療人になりたいです。大学では、患者さんが目指すゴールと医療人が考える目標に相違がないよう、コミュニケーションを密にとり関係を築く大切さを学びました。今までの学びやこれからの経験を積み重ね、理想の医療人に近づきたいです。

森川 卯月
リハビリテーション学部・
理学療法学科
海泉賞 受賞



先輩から新入生へ

キャンパスライフを楽しむために

私は課外活動を通し、学年・学部関係なく多くの人と関わることができ、大好きな野球をすることができました。ぜひ皆さんも課外活動に参加し、充実した楽しいキャンパスライフを送ってください！

相田 一樹
リハビリテーション学部・
理学療法学科
課外活動功労賞 受賞



学生会の活動を通して、周りの意見や自分の考えをまとめ、相手に伝えることの難しさと大切さを学びました。この経験を患者さんや職場の人とのコミュニケーションに役立てたいと思います。

渡邊 真衣
医学部・医学科
学生会活動功労賞 受賞



“患者に寄り添うコミュニケーション”

信頼し尊敬できる先生方や友人に恵まれ、本学で医療人としての礎を築けたことは、私にとって誇りであり感謝の気持ちでいっぱいです。今後も自己研鑽を重ね、チーム医療の一員として日々精進するとともに、患者さん一人一人に心から寄り添うことのできる作業療法士を目指します。

小山 寛奈
リハビリテーション学部・
作業療法学科
海泉賞 受賞



1 各種国家試験の結果

2023年度に実施されました医師、薬剤師、看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士の国家試験の結果についてご報告します。



西宮キャンパス

第118回 医師国家試験 (試験日:2024年2月3日・4日)

	総合			新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
2023年度	114名	113名	99.1%	111名	110名	99.1%	3名	3名	100.0%
2022年度	115名	112名	97.4%	111名	109名	98.2%	4名	3名	75.0%
参考)全国 2023年度	10,336名	9,547名	92.4%	9,489名	9,048名	95.4%	847名	499名	58.9%

神戸キャンパス

※薬剤師以外の既卒は一括出願のみ

第109回 薬剤師国家試験 (試験日:2024年2月17日・18日)

	6年制新卒			6年制既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
2023年度	77名	65名	84.4%	106名	51名	48.1%
2022年度	97名	80名	82.5%	111名	44名	39.6%
参考)全国 2023年度	8,416名	7,100名	84.4%	4,957名	2,103名	42.4%

第110回 保健師国家試験 (試験日:2024年2月9日)

	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
2023年度	28名	28名	100.0%			
2022年度	30名	30名	100.0%			
参考)全国 2023年度	7,387名	7,218名	97.7%	408名	238名	58.3%

第59回 理学療法士国家試験 (試験日:2024年2月18日)

	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
2023年度	41名	41名	100.0%			
2022年度	44名	44名	100.0%	1名	1名	100.0%
参考)全国 2023年度	11,408名	10,858名	95.2%	1,221名	408名	33.4%

第113回 看護師国家試験 (試験日:2024年2月11日)

	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
2023年度	101名	99名	98.0%	1名	1名	100.0%
2022年度	102名	101名	99.0%	1名	1名	100.0%
参考)全国 2023年度	57,860名	53,903名	93.2%	5,441名	1,654名	30.4%

第107回 助産師国家試験 (試験日:2024年2月8日)

	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
2023年度	6名	6名	100.0%			
2022年度	6名	6名	100.0%			
参考)全国 2023年度	2,063名	2,049名	99.3%	88名	76名	86.4%

第59回 作業療法士国家試験 (試験日:2024年2月18日)

	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
2023年度	44名	43名	97.7%	1名	1名	100.0%
2022年度	36名	35名	97.2%	1名	1名	100.0%
参考)全国 2023年度	5,019名	4,597名	91.6%	717名	243名	33.9%

2 卒業後の進路

兵庫医科大学から社会に羽ばたいていった卒業生たちの研修先・就職先情報について紹介します。

2023年度 医学部医学科卒業生 卒業後の進路

- 兵庫医科大学病院
- 明石市立市民病院
- 綾部市立病院
- 医療法人川崎病院
- 大阪医科薬科大学病院
- 大阪公立大学医学部附属病院
- 大阪市立総合医療センター
- 大阪大学医学部附属病院
- 亀田総合病院
- 刈谷豊田総合病院
- 関西医科大学附属病院
- 京都第二赤十字病院
- 京都府立医科大学附属病院
- 近畿大学病院
- 熊本中央病院
- 慶応義塾大学病院
- 高知大学医学部附属病院
- 神戸救済会病院
- 神戸大学医学部附属病院
- 公立豊岡病院
- 国立病院機構名古屋医療センター
- 国立病院機構舞鶴医療センター
- 順天堂大学医学部附属浦安病院
- 市立伊丹病院
- 市立吹田市市民病院
- 市立奈良病院
- 住友病院
- 宝塚市立病院
- 地域医療機能推進機構吉田医療センター
- ツカザキ病院
- 東京大学医学部附属病院
- 富山大学附属病院
- 奈良県総合医療センター
- 兵庫県立西宮病院
- 府中病院
- ペルランド総合病院
- 松坂市市民病院
- 松山赤十字病院
- 明和病院
- 洛和会音羽病院
- 和歌山労災病院

2023年度 神戸キャンパス卒業生 就職実績 ※2024年3月28日時点

薬学部 医療薬学科

大学病院

- 兵庫医科大学病院
- 川崎医科大学附属病院
- 公立・公的病院
- 加古川中央市民病院
- 神戸中央病院
- 市立長浜病院
- 市立東大阪医療センター
- 市立福知山市市民病院
- 兵庫県立淡路医療センター
- 兵庫県立こども病院
- 兵庫県立丹波医療センター

民間病院

- 尼崎中央病院
- 医誠会国際総合病院
- 医療法人医誠会
- 井野病院
- 大山記念病院
- 音羽病院
- 高砂西部病院
- 西宮渡辺病院
- 野崎徳洲会病院
- 姫路聖マリア病院
- 淀川キリスト教病院

調剤薬局・ドラッグストア

- I&H(株)
- イオンリテール(株)
- ウエルシア薬局(株)
- (株)アインホールディングス
- (株)アカカベ
- (株)アルカ
- (株)クスのアオキ
- (株)コクミン
- (株)ココカラファイングループ
- (株)サエラ
- (株)サンドラッグ
- (株)スギ薬局
- (株)マツモトキヨシ
- (株)ミズ
- (株)メディカル光
- (株)メディカルシステムネットワーク
- (株)ユーアイファーマシー
- (株)ユタカファーマシー
- クオール(株)
- クラフト(株)
- グリーンファーマシー(株)
- 総合メディカル(株)
- (有)かんまき薬局
- (有)寺田薬局

行政・公務員

企業・その他

- (株)ニトリ

看護学部 看護学科

- 大学病院
- 兵庫医科大学病院

- 兵庫医科大学ささやま医療センター
- 大阪公立大学医学部附属病院
- 大阪大学医学部附属病院
- 神戸大学医学部附属病院
- 北海道大学病院
- 公立・公的病院
- 大阪医療センター
- 大阪急性期・総合医療センター
- 大阪府済生会吹田病院
- 大阪府済生会千里病院
- 加古川中央市民病院
- 神戸市立医療センター西市民病院
- 神戸市立医療センター中央市民病院
- 神戸赤十字病院
- 小倉医療センター
- 済生会兵庫病院
- 滋賀県立総合病院
- 西神戸医療センター
- 日本赤十字社医療センター
- 兵庫県災害医療センター
- 兵庫県立加古川医療センター
- 兵庫県立西宮病院
- 兵庫県立はりま姫路総合医療センター
- 松江市立病院

民間病院

- 明石医療センター
- 大久保病院
- 協和マリナホスピタル
- 神戸アドベンチスト病院
- ツカザキ病院
- 南部徳洲会病院
- 明和病院
- 行政・公務員
- 大津市
- 豊中市

リハビリテーション学部 理学療法学科

- 大学病院
- 兵庫医科大学病院
- 兵庫医科大学ささやま医療センター
- 公立・公的病院
- 地方独立行政法人神戸市民病院機構
- 姫路赤十字病院
- 民間病院
- 愛仁会リハビリテーション病院
- 明石医療センター
- 尼崎だいまつ病院
- 尼崎中央病院
- 有馬温泉病院
- 石川病院
- 伊丹恒生脳神経外科病院
- 医誠会国際総合病院
- 大久保病院
- 大阪府済生会大阪北リハビリテーション病院
- がくさい病院
- 川崎病院
- 協和会病院
- 神戸百年記念病院
- 順心病院
- 新須磨病院

- 高槻病院
- 宝塚リハビリテーション病院
- 東京湾岸リハビリテーション病院
- はくほう会セントラル病院
- 姫路中央病院
- 姫路聖マリア病院
- 耳原総合病院
- 明和病院
- 八尾徳洲会総合病院
- 渡邊高記念会
- クリニック・施設・診療所
- 千葉さぼーるクリニック
- やまがみ整形外科
- わかば

リハビリテーション学部 作業療法学科

- 大学病院
- 兵庫医科大学病院
- 兵庫医科大学ささやま医療センター
- 公立・公的病院
- 神戸市立医療センター中央市民病院
- 公立八鹿病院
- 市立吹田市市民病院
- 西脇市立西脇病院
- 星ヶ丘医療センター
- 民間病院
- 愛仁会リハビリテーション病院
- 尼崎だいまつ病院
- 尼崎中央病院
- 医療法人明倫会
- 上ヶ原病院
- 宇治リハビリテーション病院
- 大内病院
- 大西脳神経外科病院
- 関西リハビリテーション病院
- 甲南会
- 酒井病院
- さんだりリハビリテーション病院
- 順心神戸病院
- 順心リハビリテーション病院
- 新百合ヶ丘総合病院
- 千里リハビリテーション病院
- 宝塚リハビリテーション病院
- 豊中平成病院
- 名取病院
- 西宮協立脳神経外科病院
- 西宮協立リハビリテーション病院
- 八家病院
- ふくやま病院
- みぎやまリハビリテーション病院
- 南大阪小児リハビリテーション病院
- 明和病院
- 森之宮病院
- 吉田病院 附属脳血管研究所
- 渡邊高記念会
- 施設・診療所
- 子ども発達支援センター
- 企業・その他
- サルビアジュニア

これからの 兵庫医科大学病院



新病院長 **池内 浩基** (いけうち ひろき)

前病院長 **阪上 雅史** (さかがみ まさふみ)

特定機能病院として、地域の医療を支える中心的役割を担い、
安全で質の高い医療の提供がさらに求められている兵庫医科大学病院。
2026年の新病院棟の完成を控え、これからの医療にどう応えていくかをお2人に伺いました。

重視してきたのは“持続的な経営”と“ONE TEAM”

池内: 阪上先生は収益性の改善や、チーム医療にこだわって病院を運営しておられましたよね。
阪上: 前提として兵庫医科大学病院は特定機能病院ですから、安全で質の高い医療を安定して提供することが求められます。そのために何が重要かということをお考えたとき、収益性と「ONE TEAM」が特に重要だと考えているからです。収益性は、安定して質の高い医療を提供しつづけるためには不可欠なことで、この5年は特に力を入れて取り組み、一定の成果を挙げられたと考

えています。「ONE TEAM」で取り組むことは、厳しい状況の中でも最善を尽くすために重要で、新型コロナウイルス感染症の流行下で特にその重要性を感じました。当院は重点医療機関として多くの重症患者を受け入れてきましたが、受け入れ開始から11ヵ月目が経過するまで院内感染者を出しませんでした。

池内: 院内感染者が出てからも、速やかに収束させることができましたね。

阪上: それができしたのは、医師、看護師、薬剤師、技師などすべてのスタッフが協力して感染防止に努めることができたから。つまり「ONE TEAM」として結束できていたからだと考えています。当院はこれまでもチーム力、団結力が問われる場面が多かったです。一つは、1995年の阪神・淡路大震災。発生日の朝から全職員が出てきて復興に努めましたし、西宮市の要請で63カ所の救護所を運営しました。医師や看護師だけでなく学生も協力して何度も何度も救護所を訪問しました。当時の病院長が「このチームワークがあれば兵庫医科大学は大丈夫だ」とおっしゃっていたのをよく覚えています。もう一つは、2005年のJR福知山線脱線事故です。事故直後に救命救急センターに連絡が来て、すぐに対応に当たりました。最終的に113人もの患者さんが入院されました。最後に、2011年の東日本大震災です。厚生労働省の要請でDMATを派遣し、3月から6月の間に6回もの派遣を行いました。こうした非常時には、チームワークがなければスムーズな連携ができません。この経験によって、結果的に院内の結束力が培われてきたのかなと思います。

池内: 「心理的安全性の高い組織」というのも目指されていました。

阪上: 野球の侍ジャパンがWBCで優勝したことで、心理的安全性、権威勾配という言葉が一気に有名になりましたよね。権威勾配が高い組織だと意見を言うようになって改善が進まなかったり、ひどいときはパワハラや、それを恐れてミスが隠すといった問題が出る場合があります。権威勾配の低い組織づくりはまだ道半ばでしたが、かなり進めることができたという実感はあります。

Profile
1961年香川県出身。専門分野は炎症性腸疾患の外科治療。2019年4月から2022年3月まで兵庫医科大学副学長、2019年より兵庫医科大学病院副院長を務める。2024年4月より同病院長に就任。

前病院長の想いを受け継ぎながら、新たな取り組みも。

阪上: 池内先生は、どのような組織づくりを進めていきたいですか？
池内: 安全で質の高い医療を提供する、という姿勢はもちろん引き継いでいきたいと考えています。そのために収益性とチーム力が重要という認識も変わりません。収益面では、入院病棟のベッド稼働率を上げることが非常に重要です。「ベッドは自科のものではなく、病院全体の共有のもの」という風土もつくり上げていかないといけないと思います。

阪上: 収益性の改善にも、チーム力が不可欠ということですね。

池内: はい。そして団結力を高めるためにも阪上先生が進めてこられた権威勾配の低い組織づくりは重要だと思います。一方で、低すぎると言いたい放題になり、意見が集約できないという問題点も生まれかねないため、適切な権威勾配を目指していきたいと思っています。

阪上: 今年から医師の働き方改革も始まります。

池内: 働き方改革自体は非常にいいことですが、職員の人件費は増加することが予想されます。タスクシフトをうまく組み合わせながら院内が丸となって柔軟に取り組んでいかなければならないと思います。

阪上: 他に進めていきたいことはありますか？

池内: 教育と研究の推進です。いずれも診療科ごとに取り組みに差があるのが現状ですが、教育によって新たな人材を育成すること、臨床研究によって医療や医学の発展に貢献することは大学病院の使命です。この考え方を改めてすべての診療科に浸透させ、社会的意義を果たせる組織にしていきたいですね。

ひとが主役の病院を、新病院棟で。

池内: 2026年にはよいよ新病院棟が開院予定です。阪上先生は「Human Centered Hospital」という言葉を掲げて取り組んでこられましたよね。

阪上: はい。意味としては「ひとが主役の未来型スマート病院」ということとなります。近年はDXやAIといったキーワードが盛んに取り沙汰されています。病院においてもテクノロジーを導入し、効率化を図っていくことは重要です。そうした取り組みを進めていきますが、同時に医療というものは完全にデジタル化できるものでもないと思うのです。患者とスタッフの間でも、スタッフ同士でも、アナログ的にコミュニケーションを取ることが医療の質に直結します。ただ



NEW

2026年開院予定 新病院棟

【Human Centered Hospital 「ひとが主役の未来型スマート病院へ」のキャッチフレーズを掲げ、開学50周年事業の一つとして、2026年に西宮キャンパスに新たな病院棟が誕生します。特定機能病院としての質を高めるためのより安全で高度な最先端の医療の提供、教育機関としての医療人育成と臨床研究機能の充実、災害拠点病院としての機能の確保など、また教職員の働きやすさにもより一層取り組んでいきます。



Profile
1954年大阪府出身。専門分野は難聴の診断と治療。2012年より兵庫医科大学病院副院長、2019年4月から2024年3月まで同病院長を務める。2024年4月より、常務理事・病院事業管理者に就任。

デジタル化するのではなく、人を主役にしたいと考えてこのスローガンを掲げることにしました。

池内: スタッフ同士のコミュニケーションという意味では、例えば今までは消化器系疾患でも内科と外科は病棟が別々でしたが、疾患別の病棟編成に集約しますので、連携が取りやすくなりますね。また、外来も3階が内科系、5階が外科系、4階に検査系を集約することで導線が便利になります。

阪上: 今の病院棟は築50年以上経っていますから、個室や空調などが最新になるだけでも患者さんの満足度は上がると思いますが、患者だけでなくスタッフもエンパワーされるような、働きやすい病院にしたいですね。

池内: はい。そしてそれを実現させるためにも、とにかく安全かつ速やかに移転を完了させることが私の使命だと考えています。

阪上: いくら設備が良くなると言っても、病院機能を止めるわけにはいきませんからね。

池内: 例えば医療機器であれば、新病院等に移動させたものや、DX化に伴い新たに導入したものが開院日に確実に動作していなければなりません。単にモノを移動させるだけではありませんから、入念にシミュレーションを行う必要があります。これらの準備を2026年までに丁寧に進めていきます。

阪上: 非常に大変な作業になりますが、移転が完了すれば、提供できる医療の質はさらに高まることは間違いありません。

池内: 新しい病院棟によって実現できることはたくさんあります。一方で、より安全で質の高い医療の提供を目指す、という基本の方針は現病院棟でも新病院棟でも変わりはありません。ハラスメントの起きない適切な権威勾配の職場づくりや「ONE TEAM」の推進、収益性の改善など、ハードに抛らない改革も引き続き進めていきます。

阪上: そのためには一緒に働く皆さんの協力も不可欠です。

池内: 良い病院づくりのために、力を貸してください。



完成イメージ図

CONTENTS

- 01 特集 つながる未来 卒業生からのEMPOWERメッセージ
- 07 特別対談 これからの兵庫医科大学病院
- 10 NEWS & TOPICS
 - ・～世界初の試み～ 直腸がん局所再発手術に対するナビゲーション手術システムの導入
 - ・看護部・看護学部連携プロジェクト キックオフミーティングを開催
 - ・歯科技工士が 第31回 兵庫県歯科保健文化功労賞を受賞～当院で10年ぶりの受賞
 - ・ハプロ移植における急性GVHDの発症リスクと血中ATG濃度との関連性を明らかに
 - ・糖尿病患者における「夜間高血圧」が心不全未発症の段階から心拡張機能悪化のリスク因子であることを明らかに
 - ・環境省「PFASに関する総合研究」(令和6年度)に採択～免疫疾患におけるPFASの免疫抑制および免疫促進影響の解明
 - ・放射線教材コンテスト 薬学部学生が優秀賞および特別賞を受賞～4年連続
 - ・2023年度 医学部退職記念講演会を開催
 - ・第22回 日本看護科学学会学術論文賞 優秀賞を受賞
 - ・株式会社積木製作と共同開発したVR教材が奨励賞を受賞
 - ・「2023年度 兵庫医科大学 優秀レクチャー賞」が決定
 - ・「2023年度 医学部ベストティーチャー賞」が決定
 - ・兵庫医科大学学術賞(2022年度) 受賞者が決定
 - ・イクボスセミナー「医療従事者だって ワーク・ライフ・バランスを」～イクボスで、誰もが活躍できる職場に～開催
 - ・『Hyogo Innovative Challenge(HIC事業)』2023年度 研究成果報告会を開催
 - ・「令和6年能登半島地震活動報告会」を開催～救急・災害医療の現場
 - ・医療科学研究科から「リハビリテーション科学研究科」へ
 - ・2024年度 入学式を挙行～4学部の入学生が一堂に会す
 - ・2023年度 臨床研修修了証授与式を挙行
 - ・2023年度 認定看護師教育課程・看護師特定行為研修課程合同修了式を挙行
 - ・ヴェルツブルク大学からの留学生を受け入れ
 - ・兵庫医科大学と神戸市兵庫区が連携協定を締結
 - ・2024年度 兵庫医科大学 入学試験結果
- 17 OUR CREW
～兵医メンバーのEMPOWER EPISODE～
緊迫した救急の現場で活躍
チームワークの重要性を次世代に伝える
兵庫医科大学 チーム「宮っ子ビーポー」
高橋 知佳子/野間 光貴/大谷 理沙/宮地 百利恵
- 19 HYO-i LAB 研究紹介
肥満、糖尿病患者に起こりやすい
認知機能障害の診断・予防・治療に係る研究
兵庫医科大学 医学部 糖尿病内分泌・免疫内科学
主任教授 小山 英則/助教 三好 晶雄/大学院医学研究科 叶 大森
- 法人からのお知らせ
- 21 2024年度 学校法人兵庫医科大学 事業計画・予算
- 23 人事情報/理事・評議員の変更について
- 25 兵庫医科大学 開学50周年記念事業募金状況報告/クラウドファンディング第2弾報告
- 26 キャンパス通信 神戸キャンパス/梅田キャンパス

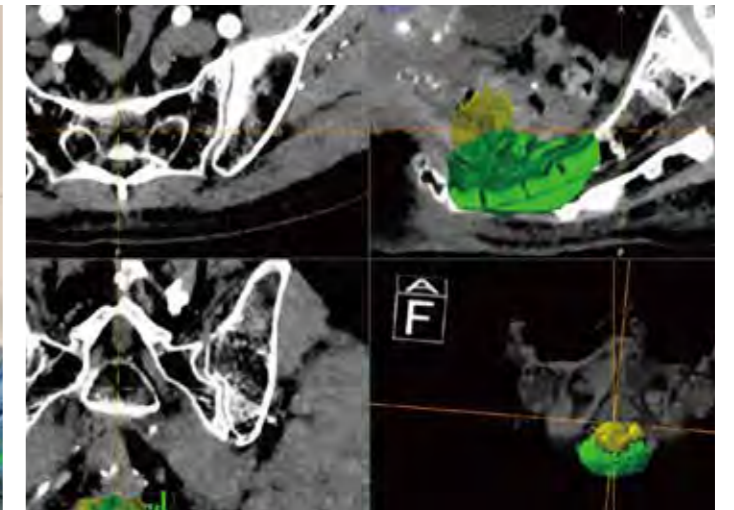


～世界初の試み～ 直腸がん局所再発手術に対するナビゲーション手術システムの導入

当院 下部消化管外科では、世界で初めて直腸がん局所再発例を対象とした術前プランニングのナビゲーションシステムを導入しました。直腸がんの局所再発は隣接する臓器や骨も同時切除する高侵襲の手術が必要になり、また予後改善には1mm以上のマージン確保が重要となります。今回、このシステムを骨盤側方再発症例に対して使用し、腹腔鏡下にリアルタイムでの位置情報を確認することで、精緻な手術(誤差1mm未満)を完遂できました。この試みは、治療に難渋することが予想される直腸がん局所再発の患者さんの治療成績向上を期待できると考えられます。

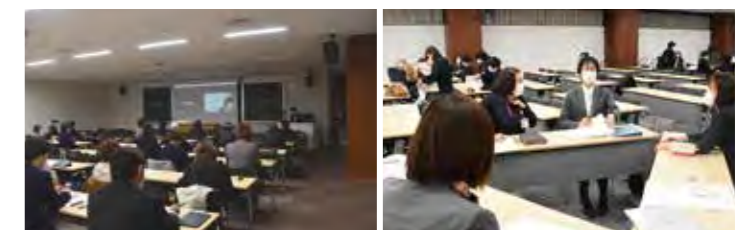


直腸がん局所再発患者さんを対象とした術前プランニングのナビゲーションシステムを使った様子



看護部・看護学部連携プロジェクト キックオフミーティングを開催

2024年3月6日、3キャンパスから40名が参加しキックオフミーティングを開催しました。3キャンパスがお互いの理解のもとで卒前～卒後の教育に基づく人材育成と看護の質向上を行う必要があります。職種連携推進のうえでも看護部・看護学部の連携は重要です。意見が自由に言える組織風土に立脚し、柔軟な思考や情報の共有、組織の一体感を醸成できることを目指していきます。



歯科技工士が 第31回 兵庫県歯科保健文化功労賞を受賞～当院で10年ぶりの受賞

歯科口腔外科 歯科技工士 一宮 賢治 課長が、一般社団法人 兵庫県歯科医師会が主催する「第31回 兵庫県歯科保健文化功労賞」を受賞し、2024年3月30日に兵庫県歯科医師会館にて表彰式が行われました。この賞は、歯科保健活動に対する多年にわたる歯科保健の普及と向上に対する功績を称えるもので当院としては10年ぶりの受賞となりました。

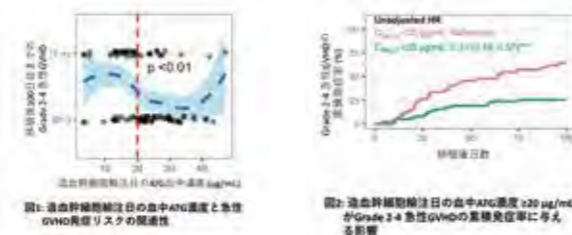


(左) 歯科口腔科学 岸本 裕充 主任教授
(右) 歯科口腔外科 一宮 賢治 課長



ハプロ移植における急性GVHDの発症リスクと血中ATG濃度との関連性を明らかに

呼吸器・血液内科学 寺本 昌弘 助教らの研究グループは、ハプロ移植を施行されたハイリスク造血器悪性腫瘍患者を対象とした研究で、造血幹細胞移植日の血中ATG濃度が急性GVHDの発症リスクに影響を与えることを明らかにしました。また、造血幹細胞移植日の血中ATG濃度は急性GVHDの発症率だけでなく、全生存率、無再発生存率にも影響を与えました。



糖尿病患者における「夜間高血圧」が心不全未発症の段階から心拡張機能悪化のリスク因子であることを明らかに

American Heart Association (AHA:アメリカ心臓協会)が発行するジャーナル「Hypertension」にて、糖尿病内分泌・免疫内科学講座の木俣 米一 病院助手らの研究グループと、医療統計学の井桁 正亮 准教授、大門 貴志 教授、循環器・腎透析内科学の朝倉 正紀 教授、石原 正治 主任教授との共同研究の成果をまとめた論文が発表されました。この研究結果は、糖尿病患者における「夜間高血圧」のリスクを心不全未発症の段階から示した成果であり、これからの心不全予防戦略としての重要な知見を臨床現場に還元しました。

論題: Nocturnal Hypertension and Left Ventricular Diastolic Dysfunction in Patients With Diabetes With the Absence of Heart Failure: Prospective Cohort HSCAA Study



環境省「PFASに関する総合研究」(令和6年度)に採択～免疫疾患におけるPFASの免疫抑制および免疫促進影響の解明

免疫学 黒田 悦史 主任教授らは、国立環境研究所と共同で行う「免疫疾患におけるPFASの免疫抑制および免疫促進影響の解明に向けた実験的検証」において、環境省が実施する「PFASに関する総合研究」(令和6年度)に採択されました。

「PFASに関する総合研究」は、多くの種類が存在するPFASのなかからリスク管理の優先度が高いと考えられる物質(群)を抽出し、その健康リスクを適切に評価するための知見を得ることを目的としています。

研究課題名: 免疫疾患におけるPFASの免疫抑制および免疫促進影響の解明に向けた実験的検証
研究期間: 2024年(令和6年)～2026年(令和8年)



放射線教材コンテスト 薬学部学生が優秀賞および特別賞を受賞～4年連続

公益財団法人日本科学技術振興財団が主催する「2023年度放射線教材コンテスト」にて薬学部 藤野 秀樹 教授の研究室に所属する薬学部5年生の林 琢成さん、白石 秀伍さん、高橋 美帆さんの3名が、2つの教材で優秀賞および全国中学校理科教育研究会特別賞を受賞しました。本コンテストで本学学生が受賞するのは4年連続となります。



左から林琢成さん、白石秀伍さん



2023年度 医学部退職記念講演会を開催

2024年3月11日、12日の2日間にわたり、今年度をもって退職する医学部教授および退任する兵庫医科大学病院長の記念講演会を開催しました。専門分野における研究者としての歩みや医療技術の向上への取り組みなど、幅広い分野のお話を伺い、教育・研究・医療への貢献度の大きさを改めて知る機会となりました。講演終了後には、学生や教職員より花束が贈られました。



2023年度 講演者



「充実した兵庫医大29年間に感謝～QOLからみた耳科手術戦略と現場第一の病院運営～」阪上 雅史 病院長



「From the bedside to the benchtop」小柴 賢洋 主任教授(臨床検査医学)



「少子化問題に対峙する生殖医療～技術の進化と行政による支援の現状～」柴原 浩章 主任教授(産科婦人科学)



「大気汚染の健康影響とエコチル調査～これまで取り組んできた環境保健研究～」島 正之 主任教授(公衆衛生学)



「胸膜中皮腫を「治る病気」にするために」長谷川 誠記 主任教授(呼吸器外科学)



「呼吸を見る・呼吸を調える～18年の歩み」越久 仁敬 主任教授(生理学生体機能部門)

「免疫の進歩とともに歩んだ40年間を振り返って」松井 聖 教授(糖尿病内分泌・免疫内科学)

「神経疾患における認知機能障害に関する研究」武田 正中 教授(脳神経内科学)

「骨腫瘍の診療、研究、教育について」麩谷 博之 教授(整形外科学)



第22回 日本看護科学学会 学術論文賞 優秀賞を受賞

2023年12月12日に開催された第43回日本看護科学学会学術集会で、看護学部 精神看護学 藤本 浩一 教授が「第22回日本看護科学学会学術論文賞 優秀賞」を受賞しました。

演題: Associations between psychiatric home-visit nursing staff's exposure to violence and conditions of visit to community-living individuals with mental illness



株式会社積木製作と共同開発したVR教材が奨励賞を受賞

2023年12月16日(土)～17日(日)にかけて開催された「第18回医療系eラーニング全国交流会年次大会(JeML)」にて、医療クオリティマネジメント学 高橋 敬子 准教授が株式会社積木製作と共同で研究開発したVR教材が、年間2団体のみに授与される奨励賞を受賞しました。



「2023年度 兵庫医科大学 優秀レクチャー賞」が決定

2024年3月22日、本学の教員を対象に選考される「2023年度 兵庫医科大学 優秀レクチャー賞」の表彰を行いました。この賞は、各学部の学生による授業改善アンケートをもとに決定する「授業科目部門」、医学部におけるすべての総合試験において優れた作問を評価する「作問部門」、優れたブラッシュアップ活動を評価するブラッシュアップ部門で構成されます。2023年度の受賞者は以下のとおりです。

■受賞科目部門



医学部「臨床解剖実習」
八木 秀司 主任教授
(代理:坂口 太一 主任教授)



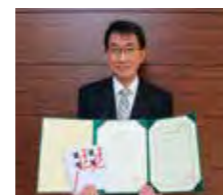
医学部「人体解剖実習」
八木 秀司 主任教授
(代理:段 昭琪 助教)



医学部「プレクリニカル教育」
蓮池 由起子 准教授



薬学部「輸液栄養学」
伊藤 都裕 講師



薬学部「生理化学III(循環・消化)」「生理化学V(感覚・内分泌等)」
山本 悟史 教授



看護学部「基礎看護技術II(治療援助)」Iグループ・IIグループ
三谷 理恵 講師

■作問部門

■ブラッシュアップ部門



看護学部「災害看護」
神崎 初美 教授



リハビリテーション学部
小児発達系理学療法学演習
永井 宏達 准教授



リハビリテーション学部
スポーツ理学療法学演習
川口 浩太郎 教授



医療クオリティマネジメント学
江口 明世 講師



病理学 分子病理部門
大島 健司 主任教授



イクボスセミナー「医療従事者だってワーク・ライフ・バランスを」～イクボスで、誰もが活躍できる職場に～開催

2024年3月28日、NPO法人ファザリング・ジャパン理事の川島 高之先生をお招きして、イクボスセミナーを開催しました。本学は2022年10月に「イクボス宣言」を行っていますが、この度のセミナーでは、組織力向上に向け上司や経営層はどのような意識改革が必要かなど、他学の事例も交えながらご講演いただき、改めてワークライフバランスや多様な働き方に対する理解が深まる機会となりました。



第18回レクチャーシップ「知の創造」を開催

2024年1月31日、株式会社ビジョンケア代表取締役社長/神戸市立神戸アイセンター病院 研究センター顧問の高橋 政代 先生をお招きし、「持続可能な網膜再生医療」をテーマにご講演いただきました。多数の学生や教職員が聴講し、講演後には質疑応答も活発に行われ、学生はもちろん教職員や研究者等にとっても貴重な機会となりました。



「2023年度 医学部ベストティーチャー賞」が決定

2024年3月22日、医学部の教員を対象に選考される「2023年度 医学部ベストティーチャー賞」の表彰を行いました。医学部では、特に教育の向上に貢献した教員に対してこの賞を授与します。2023年度の受賞者は右のとおりです。

■講義部門(第1学年次)



塚本 蔵 主任教授
(生化学)

■講義部門(第3学年次)



吉村 紳一 主任教授
(脳神経外科学)

■講義部門(第4学年次)



内山 侑紀 准教授
(リハビリテーション医学)

■臨床実習 長期コース部門



新崎 信一郎 主任教授
(消化器内科学)

■講義部門(第2学年次)

蓮池 由起子 准教授(医学教育学)

■臨床実習 短期コース部門

坂口 太一 主任教授(心臓血管外科学)



兵庫医科大学学術賞 受賞者が決定

若手研究者の研究の奨励を目的とし、国際的な評価が高い研究を行った研究者に対し学術賞(教員・大学院生)を授与します。2022年度の受賞者は右のとおりです。

■学術賞(教員)



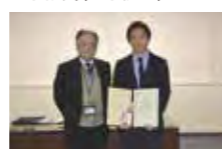
小椋 英樹 准教授
(病原微生物学)

■学術賞(大学院生)



神田 浩里 助教
(薬学部)

■学術賞(大学院生)



森本 将太 さん
(医学研究科 医科学専攻
高次神経制御系 整形外科学)



垣田 大輔 さん
(医療科学研究科 内部障害)



「令和6年能登半島地震活動報告会」を開催～救急・災害医療の現場

今年元日に発生した能登半島地震において災害支援活動に携わった当院職員による活動報告会を3月28日に開催しました。被災者の救出や医療支援をはじめ給水・物資支援など活動の様子を報告しました。医師・看護師、薬剤師をはじめとした医療者が連携し、被災者とコミュニケーションを取りながら支援活動に従事する様子を、会場の参加者は熱心に聴講しました。

報告者

- 1.空飛ぶ捜索医療団“ARROWS” 山田 太平(救急・災害医学講座 准教授)
- 2.空飛ぶ捜索医療団“ARROWS” 渡邊 暁洋(危機管理医学講座 特任助教)
- 3.兵庫県医師会JMAT 雑賀 逸平(看護部 EICU CCU 看護部長)
- 4.日本看護協会 災害支援ナース 大谷 理沙(看護部 EICC CCU 看護師)
- 5.日本私立医科大学協会 中西 花穂(看護部 EICC CCU 看護師)
- 6.空飛ぶ捜索医療団“ARROWS” 井上 幹也(看護部 EICC CCU 看護師)
- 7.日本DMAT 高木 清貴(看護部 EICC CCU 看護師)
- 8.空飛ぶ捜索医療団“ARROWS” 門河 祐果/吉松 航紀(看護部 EICC CCU 看護師)





医療科学研究科から「リハビリテーション科学研究科」へ

本学「医療科学研究科」は、2011年4月に開設した修士課程の大学院であり、疾病の予防や治療及び対象者の社会参加に至るまでのシームレスなリハビリテーション介入を研究対象としています。ステークホルダーに、研究領域を明確に示すため、2024年4月1日より研究科名を「リハビリテーション科学研究科」に、専攻名を「リハビリテーション科学専攻」に改称しました。

2024年3月31日までの名称	2024年4月1日からの名称
医療科学研究科 (Graduate School of Health Science)	リハビリテーション科学研究科 (Graduate School of Rehabilitation Science)
医療科学専攻 (Course of Health Science)	リハビリテーション科学専攻 (Course of Rehabilitation Science)



2024年度 入学式を挙行～4学部の入学生が一堂に会す

2024年4月5日、ポートピアホール(神戸ポートピアホテル内)において「2024年度 兵庫医科大学 入学式」を挙行了しました。4学部合同での入学式では、医学部112名、薬学部122名、看護学部104名、リハビリテーション学部85名、大学院の薬学研究科 4名、看護学研究科8名、リハビリテーション科学研究科 9名、総勢444名の新入生が一堂に会し、建学の精神に則り精進することを誓いました。



2023年度 臨床研修 修了証授与式を挙行

3月15日、臨床研修医、研修歯科医等 計60名が修了証書を授与されました。コロナ禍の影響による研修の制限もありましたが、医療人として新たな気持ちで活躍していくことを誓いました。



2023年度 認定看護師 教育課程・看護師 特定行為研修課程 合同修了式を挙行

3月22日、臨床教育統括センター 認定看護師教育課程14名・看護師特定行為研修課程10名の受講者が修了式を迎えました。池内センター長より修了証書が授与され、激励の言葉が贈られました。



ヴェルツブルク大学からの 留学生を受け入れ

医学部では2024年2月26日から3月22日の4週間、ヴェルツブルク大学(ドイツ)からの交換留学生を2名受け入れました。日本の医療を学ぶだけでなく、在学と交流することで日本文化への理解を深めました。



兵庫医科大学と 神戸市兵庫区が 連携協定を締結

本学では、未来を切り開く教育、研究の創造に挑戦し、広く社会に貢献する医系総合大学として、自治体との連携プロジェクトの推進に取り組んでいます。このたび本学と神戸市兵庫区は、地域福祉と教育の分野においてそれぞれの持つ人材や知識、情報などの資源を活用して相互に協力し、地域活性化に寄与することを目的として連携協定を締結いたしました。



2024年度 兵庫医科大学 入学試験結果

2023年度に実施した「2024年度兵庫医科大学入学試験」の結果は下記のとおりです。神戸キャンパスの一般選抜前期日程において、高松試験会場を新たに設けました。また、看護学部、リハビリテーション学部において大学入学共通テスト利用入学試験後期日程を新たに実施しました。

■2024年度 兵庫医科大学医学部 入学試験結果

学部学科	医学部医学科					
	総合型		推薦		一般	
定員	112					
入試種別	卒業生子女枠	一般枠	一般公募制	地域指定制	A(4科目型)	B(高大接続型)
	募集人員	3名以内	約5名	約15名	5名以内	約74名
志願者	34名	71名	72名	20名	2,023名	339名
受験者	34名	71名	72名	20名	1,933名	330名
1次合格者数					414名	89名
合格者数*	3名	6名	17名	5名	141名	10名

*一般選抜は正規合格者

■2024年度 兵庫医科大学 薬学部・看護学部・リハビリテーション学部入学試験～試験結果

学部学科	薬学部 医療薬学科												看護学部 看護学科											
	総合						推薦						総合				推薦				一般			
定員	150												100											
入試種別	一般枠	卒業生子女対象	専願(前期)	併願A	併願B	専願(後期)	併願C	前期(3科目型)	前期(2科目型)	中期	後期	共通テスト利用(前期)	共通テスト利用(後期)	一般枠	卒業生子女対象	専願(前期)	併願A	併願B	前期(3科目型)	前期(2科目型)	後期	共通テスト利用(前期)	共通テスト利用(後期)	
	募集人員	6	2	20	15	15	3	8	30	20	10	5	4	2	10	2	18	5	15	26	13	5	3	3
志願者数	10	0	16	63	64	8	20	83	56	35	30	55	7	73	1	81	117	257	167	187	41	44	13	
受験者数	10	0	16	63	63	7	20	80	53	30	30	53	7	73	1	81	116	255	164	183	41	44	13	
一次合格者数	10													20										
合格者数	7	0	12	53	51	1	13	51	36	14	15	46	5	13	1	28	28	71	47	47	17	10	5	

学部学科	リハビリテーション学部 理学療法学科								リハビリテーション学部 作業療法学科														
	総合				推薦				一般				総合				推薦				一般		
定員	40								40														
入試種別	一般枠	卒業生子女対象	専願(前期)	併願B	前期(3科目型)	前期(2科目型)	共通テスト利用(前期)	共通テスト利用(面接併用型)	一般枠	卒業生子女対象	専願(前期)	併願B	前期(3科目型)	前期(2科目型)	共通テスト利用(前期)	共通テスト利用(面接併用型)							
	募集人員	4	2	10	4	9	5	2	2	4	2	10	6	8	4	2	2						
志願者数	38	0	55	87	68	83	43	5	16	0	21	30	15	19	7	1							
受験者数	38	0	54	85	68	83	43	5	16	0	21	29	15	18	7	1							
一次合格者数	13								12														
合格者数	5	0	15	12	13	14	11	3	7	0	18	15	10	11	2	1							